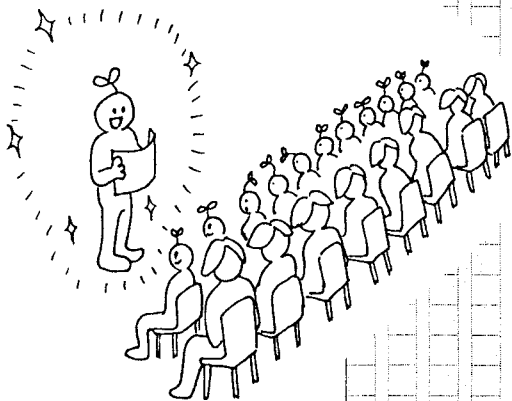


みなさんこんにちは！Leaves は通級を利用する子どもたちのことを少しでも伝えたいという思いから発行を始め、3年目。第8号を迎えることができました。

そして、今回の「伝えたい！」は、通級を利用した子どもたちの卒業間近の作文です。

ふたば学級には『卒業・進級お祝い会』というのがあり、みんなでお祝いをします。どのグループの子どもたちもそれぞれ協力し合い、ペープサートや電車クイズ、手品など・・・出てくるものはさまざまな楽しい会です。そこで卒業生が読んだ【振り返り】の作文を、一部ですがご紹介します。

心のだっぴ



心のだっぴ

ふたばくん

毎日ケンカしていたのは、三年生のころ
 だ。た。あのころのぼくは、一日一回キレ
 いた。ぼくがふたばに入、七の女、そんな小
 学三年生のころだ。た。ふたばと日、何を回
 おうふくしたのぼく、数えてみる、百回以上
 になっっている。そんなま、おくもうすれてきた
 小学校六年生の今、ぼくは毎日ケンカもな
 くなり、支障も、人々とよく話している。もし
 て苦手だ。たが入室のせい、せきもこつてもな
 く上もつしている。
 そんなふたばは、ぼくと、て心のだっぴを
 する。ぼくは、た、びをくりかえして、ぼくは
 成長した。ぼくは、これがちも成長するたろう、
 こそ

先生たちに感謝

先生達に感謝

ふたばちゃん

ふたば学級は私にと、て、苦手
 をこくふく、なき、場所でした。私
 は小さい頃から運動が、し
 かもいやな事には、目もむけな、よ
 うな性格だ。た、のび、ふたばに通
 い始めた。前までは運動が苦手なま
 までした。でも、ふたばに通い始
 めてからは、苦手な所を先生たち
 が、ていねいに教えてくれたので、
 少しずつたけと、苦手をこくふく、
 きて、うれしか、たびす。他にち
 いろんな勉強をして、いろんな苦
 手をクリアできました。
 私、がもし、ふたばに通、ていなか
 たら、今もまだ苦手だらけだ、
 と、思います。だから、今ま、びお
 世話になります。た先生達にと、ても感謝
 して、います。

あんな風に、
 気持ちを文章に
 できるようにな
 るんだね。

すご～い！
 ちよっと感動



先生に直撃インタビュー！！

* ふたば君の担当の先生 *

- Q1. ふたばにきたばかりの時の印象は？
- A. 先生の方が後からふたばに来たので、初めて会ったのはふたばくんが5年生の4月でした。第一印象は、明るくおもしろそうなお子さんだなと思いました！
- Q2. どんなところに意識して指導されましたか？
- A. ふたばくんの良さ（明るく前向き、アイデア豊か）をつぶさずのばしていくにはどうすればいいか、苦手なところをよさでカバーできないか考えた。
- Q3. どんなお子さんでしたか？
- A. 一見なんの問題もないように見られがちですが、抱えている課題（運動、感覚統合的、漢字、空間認知など）は大きいお子さんでした。ふざけているように思われちゃうから損だなア〜と。でも、明るく前向き！
楽天的なのですばらしいと思いました！
- Q4. 最後に一言
- A. 自分ってどんなタイプ？か どうしたら困っていることがうまくいくか 自分のよいところはどんなことか よく話し合いました。
これが大事なことのように感じます。彼のように明るい前向きなでこぼこさんがふえるといいなと思います。

ふたばは心の成長に不可欠な場所でした。
頑張って100回以上送り迎えして良かったです(^ ^)

ふたばくんママ

* ふたばちゃんの担当の先生 *

- Q1. ふたばにきたばかりの時の印象は？
- A. 物静か。人の輪の後ろにそっといるような子。家族想いなお姉さん。
- Q2. どんなるころに意識して指導されましたか？
- A. 低・中学年の頃は 本人の要求や困っていることの伝え方を教えながら ゆっくりと話を聞く場や時間を作りました。苦手なことにも取り組めるよう励ましを多くした。高学年は本人の自主性を大切にしつつ、安心して語れるグループづくりを意識しました。
- Q3. どんなお子さんでしたか？
- A. 感覚の過敏さもあり、接触の多い運動は苦勞をしてお見学することもあったが、スモールステップで練習を重ねるなど努力していました。
また、人の前で話をするということにも挑戦するなどたくましくなりました。
- Q4. 最後に一言
- A. クラスの担任の先生方からも温かく見守られ励まされながら クラス、行事、委員会活動で活躍をしていました。
めんどろ見が大変よく、下級生から慕われていました。

人前で話するのが苦手で泣いちゃったときもあったね・・・
ほんとに成長したな〜。。

ふたばちゃんママ

編集後記

前回の卒業進級お祝い会の日、送り出す側の息子がふと、私に質問しました。「俺さあ、どうしてふたばに通ってるの？」お!そういうこと、意識しはじめたんだ。しかし、なかなか難しい質問です。君の未来を考え、世間的なルールや制度、親の都合も加味され、正解なんかない中で、手さぐりてたどりのついた訳だけど...。う〜ん、なんて答えたらいいのかなあ。と、その時、6年生達が素敵な作文をつぎつぎに読み出したのです。一人一人のでこぼこが全く違う中、克服したい苦手項目もひとそれぞれ。でも、ある意味オーダーメイドな指導の賜物でしょう、自分を見つめ、その子なりのペースで成長をとげている。ふたばを修行の場ととらえたり、安心な場所とか居場所と表現した6年生もいて、感動...。息子よ、これが答えだ！帰り道、「知りたい事の答えが作文につまっていたね」と言うと、「俺、6年まで通うの？作文とか、人前で読むってマジ無理〜」はいい？気になったのはそこですか.....。今日も、子供の成長力を信じて見守っています。

～最後まで読んでくださりありがとうございました～